平成 30 年 5 月 26 日

平成 30 年度第 1 回核兵器廃絶市民講座

「北東アジアの非核化と安全保障」

長崎大学核兵器廃絶研究センター
鈴木達治郎
広瀬　訓

Ⅰ　はじめに：研究の概要

Ⅱ　「核の傘」依存低減に向けて：非核保有国の政策

1)「核兵器禁止条約」成立過程における「核の傘」依存国の動向

2) オーストラリアと「南太平洋非核地帯」(ラロトンガ条約)

3) 消極的安全保証の意義と役割

4) 核抑止過剰依存とそのリスク認識

5) 北東アジア非核化への包括的アプローチ再検証と今後の対応

Ⅲ　北東アジアにおける信頼醸成：トラック 2 の活用の可能性

1) 北東アジアの安全保障における特殊性

2) 北朝鮮の核開発問題：手詰まりという現状

3)「トラック 2」の実績

4) 北東アジアにおける「トラック 2」の試み

5) 北東アジアにおける「トラック 2」の問題点　→　新しい展開へ

Ⅳ　「非核化の検証」と科学技術の役割

1）核軍縮における「検証」の現状と課題

2）衛星監視技術の利用可能性

3）ブラジル・アルゼンチン共通核物質管理機関

4）北東アジア非核兵器地帯の検証制度とその課題

5）北朝鮮（朝鮮半島）非核化：検証モデル

Ⅴ　最近の核情勢

1）朝鮮半島情勢の急展開：南北・米朝会談の現状と見通し

2）2020NPT 再検討会議第 2 回準備委員会

3）米のイラン核合意離脱の影響

参考文献

鈴木達治郎･広瀬　訓･藤原帰一編著 『核の脅威にどう対処すべきか　北東アジアの非核化と安全保障』法律文化社　2018 年 3 月